

03 三春の これからの 可能性



町長 「もったいなくなったらしいな」と思うような、三春の未来の可能性についてぜひ聞かせてください。



門馬さん 「ブルーベリーのおいしいまち・三春」としてもっと県内外に知ってもらえると嬉しいですね。去年は台湾から味わいに来てくださった方もいましたし、城下町の神社などと組み合わせた観光も、もっと提案できそうです。

濱田さん 国内・県内に観光地が多くあるなかで、わざわざ三春に来ていただけるのは本当にすばらしいことですな！

渡部さん 私は民泊も運営していますが、県外や海外から三春に来てみたいというニーズは思った以上にあると感じています。お客様を通して、自分たちには当たり前の景色も、外から見ると魅力的に映ることに気づかれますね。

濱田さん 私は去年、三春なま蔵でラーメン店を始めましたが、開店のきっかけの一つが隣の由緒ある醤油屋・本陣本店さん。ここの醤油を使いたいと思ったことで、三春の素敵な伝統や魅力に触れることが



できました。三春には、様々な掛け合わせで新しい価値が生まれる可能性がまだまだあると思います。



渡部さん 少人数からでも町外の人を受け入れる「町民ツーリズム」のような取組みを取り入れたら面白いんじゃないかなと思います。地域の経済活性化や、災害時に助け合いにもつながると思います。

武井さん 少人数というのは三春らしさを感じていいですね。私は農業体験にも携わっていますが、少人数のほうが一人ひとりと向き合えて体験の魅力が向上します。そんなふうに三春らしい農業体験の場を広げ、人と農がつながるきっかけを作っていきたいです。

門馬さん 「三春ブルーベリー倶楽部」では三春産ブルーベリーを使ったアイスクリームやジェラートを試作中です。皆さんに味わってもらえる日が楽しみです！

町長 春から始まるふくしまデスティネーションキャンペーン（※）に向け、三春の特産品を生かした6次化商品はとても楽しみです。そういった特産品に淹桜などの付加価値を加えながら町のブランドづくりを進め、三春の魅力を多くの人に伝えていきたいです。

※ふくしまデスティネーションキャンペーン：
JRグループと福島県・市町村・地元の観光事業者が連携し、地域の魅力を発信する観光キャンペーン。
2026年4月1日(水)～6月30日(火)に実施予定。



2025年、三春は合併70周年を迎え、記念式典の開催や記念パンフレットの作成を行いました。これまでの歩みを振り返り、未来への想いを新たにする一年となりました。



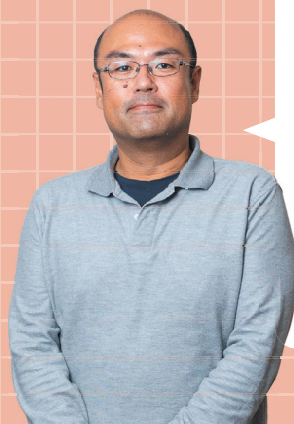
HP▲

地域全体で未来を描く
三春が好き♡



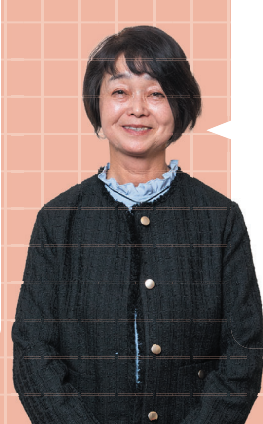
新しく立ち上げた会社「るる」では、三春の竹炭をみんなで作るプロジェクトに挑戦したいです。子どもから大人まで、地域の人たちがつながる活動をどんどん広げていけたらと思っています。

渡部さん



栽培している作物の品質をもっと高めながら、販売体制も整えていきたいですね。収穫体験など、農業に触れられる機会づくりにも力を入れていきたいと思っています。

武井さん



ブルーベリーの品質をさらに高めて、より良いものを届けられる体制をしっかりと整えていきたいです。将来的には“献上ブルーベリー”みたいな特別なものを作っていけたらと思っています。

門馬さん